

Bj CHUGOKU 備後の経済情報誌

ビジネス情報

E-mail bj@e-chusen.com 400YEN 年間購読料13,000円(送料・税込み)

おかげさまで **25th Anniversary** **創刊** **ビジネス情報**

DECEMBER 2009
12 | 1

まごころの仕出し
伊呂波
福山市南本庄3-8-12
☎(084) 927-0168(代)

特集



福山観光「大河に乗れ!」

〈龍馬伝で再び脚光の鞆の浦〉

ダイジョイモで和菓子を

〈勉強堂〉

福山大学の備後経済論

〈福山青年会議所 大島衣恵理事長〉

「じばさんフェア」開催

〈118の企業・団体が出展〉

いま輝いている女性

この人に聞く

白河産婦人科 副院長 安藤 尚子さん



白河産婦人科
副院長
安藤尚子さん

あの日、あの時、あのニュース。
残しておきたい記事を、
ジャーナルプレートに。
掲載記事があればいいです。
私に連絡ください。
担当:平田・中山
TEL 084-953-8800
ANNIVERSAL
JOURNAL PLATE
Email: journalplate@kakiharamelban.co.jp
柿原銘板

◆産婦人科
◆不妊治療
ここのと
幸の鳥
レディスクリニック
<http://www.kohnotori.com>

介護用品専門
ほろがせ
☎0120-23-0772

いしおか医院
ISHIOKA ●内科●胃腸内科●放射線科
上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)
下部消化管内視鏡検査(大腸カメラ)
福山市大門町3丁目19-14
Tel (084) 946-5100
<http://www.011.upp.so-net.ne.jp/ishioka/>

世羅の風呂迫建設

農園付別荘「やすだの郷」

3月貸出へ2期工事進む



の裁量で自由に耕作できる。「固定資産税が安い田舎だからできる。定住したり長期で借りるのであれば、果樹を植えていただいてもいい」と風呂迫社長。

初年度の今年は7月から一期分六戸を貸し出した。借り主の内訳は広島市内が三件、県東部では福山市と尾道市、世羅町が各一件で、福利厚生目的に法人名義で借りた例も一件あった。退職後の高齢者や農業に興味のある若い世代に関心が高く、永住希望者もいるという。

（株）風呂迫建設（世羅郡世羅町安田六五七―二、風呂迫聖吾社長）は、7月から開始した農園付き貸し別荘「やすだの郷」（同町安田）の第二期工事（九戸）を進めている。写真上。工事は来年2月の完成見込み。二年目の貸し出しは第一期の六戸Ⅱ写真下Ⅱを含めた合計一五戸で、3月から開始する。



すべて一部屋タイプ（木造平屋建て三二平方メートル）。利用者の一部から、部屋数の少なさや狭さを指摘する声が上がったため、第二期工事では一部屋タイプ四戸に加えて、二部屋タイプ（同三四・四平方メートル）五戸を設ける。どちらもユニットバスや簡易水洗トイレ、洗面台を備えるほか、キッチン付きの居室にはロフト（七・五平方メートル）があり、部屋を広く使うことが可能。外から出し入れできる収納庫もある。駐車スペースは各戸二台分。

家賃は年36万円から

二年目は春野菜の作付けが始まる3月をスタートとし、契約は翌年2月までの一年単位。農園部分を含む家賃は一部屋タイプが年額三六万円、二部屋タイプが年額四二万円となる。敷金や礼金・更新料は無料。第二期分の農園は、入居者の希望耕作面積に応じ、調整して割り当てる。

別料金での有償サービスも充実。農業に不慣れな人は営農指導が受けられるほか、小型耕運機のレンタルも行う。また頻繁に来られない人は、水やりや草むしりなど農園の管理も依頼できる。

「やすだの郷」は国道184号沿いに立地し、車でのアクセスも便利。今後は町内にある観光農園や農業団体とも連携し、利用者への付加サービス、情報の提供や交流イベントなども検討する。

建設業から直接農業へ進出する例は多いが、同社は「自然環境や相場などに左右され、リスクが大きい」と判断。リスクの少ない農業関連ビジネスとして、ヨーロッパで人気の小屋を併設した市民農園「クラインガルテン」を参考に、農園付き貸し別荘のビジネスモデルを提案した。周辺市町でも同様の農園付き貸し別荘を運営したい人がいれば、問い合わせを歓迎する。風呂迫社長は「建築工事の受注などを条件に、ノウハウを提供したい」と話している。

問 0847・29・0321

福山北商工会青年部「愛」テーマにライト

服部大池と加茂中前で
福山北商工会青年部（山手敏史部長）は11月14日から、ライトアップ事業「FUKUYAMA LIGHT FESTA」を行う。



「AMA LIGHT FESTA」を開始した。福山市駅前町法成寺の服部大池公園Ⅱ写真Ⅱと、同市加茂町下加茂の加茂中学校前の二会場で、来年1月5日（火）までの19時―深夜0時の間、イルミネーションによるライトアップを行う。

今年のテーマは「愛」。カップルや親子連れ、老夫婦までが愛をはぐくめるスポットとして約一万个のLEDなどを用いて演出し、地域活性化や青年部PRにつなげる。

「Buchhiバル祭」が12月6日（日）10―15時、Buchhiバル福山（福山市草戸町）で行われる。パリエーションに富んだ品が並ぶフリーマーケットやお茶席、華道や絵画などの作品展示、ビンゴゲーム、露店などがある。